日本BCP通信

第 00035 号
発行日：2026 年 10 月 30 日
発行元：日本 BCP 株式会社

千葉県台風25号による給油対応











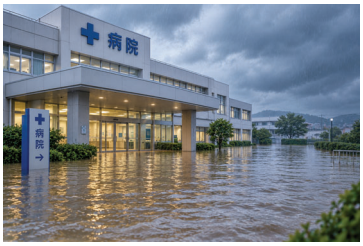
2026 年 9 月 20 日から 21 日にかけて、台風 25 号の影響により千葉県を中心とする関東地方で大雨となり、広い範囲で浸水や土砂災害など甚大な被害が発生しました。被害を受けられた方々に対し、謹んでお見舞い申し上げます。

印旛沼の堤防が決壊したことにより広範囲にわたり浸水被害が及びました。

山間部では土砂崩れ等が発生した影響で広範囲で停電が発生し、非常用発電機による給電を余儀なくされました。日本 BCP はこれらの発電機への給油を行うために 9 月 23 日から活動を開始しました。徐々に明らかになる想定以上の被害状況に対応するために、派遣人員を増強しながら現地での給油活動を継続し約 1 ヵ月経過した現在も、一部で作業を継続している状況です。

今年は水害が多く、地震以外での停電による出動要請が多いことが特徴になっています。改めて様々な自然災害への備えが必要と感じています。

相次ぐ水害に対する備えはできていますか？



近年、線状降水帯による集中豪雨などにより、全国各地で河川の氾濫や浸水被害が相次いでいます。水害は地震と違い、気象情報からある程度予測できる災害です。だからこそ、事前の備えが被害の大きさを左右します。まずはハザードマップで、自施設の浸水想定区域や想定浸水深を確認しましょう。非常用発電機やサーバーなど重要設備の設置階、止水板・土のうの準備状況、警戒レベルに応じた行動計画（タイムライン）を点検することが重要です。BCP を「地震だけの計画」にせず、水害を想定した見直しと訓練をご検討ください。

専門家に聞く

水害対策で「土のう」を用いることは多いですが，「土のう」の使い方を知っている人はそれほど多くありません。堤防の越水対策なのか，洗堀対策なのか，漏水対策なのかなど，目的による積み方の違いもありますが，基本のコツは例えば次の通りです。袋に土と詰めすぎないこと。互い違いにおいていくこと。流れに対して下流側に袋の口が来るようにすること。こういうコツは体で覚えるものなので，訓練等で体験しておけば，すぐに思い出せると思います。あともう一つ大事なこと。最近は舗装が多く，「土のう」に詰める土がないことも多いです。どこに土と袋があるかの確認も大事です。（ 関西大学社会安全学部　教授　一井康二 ）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する

日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら

当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します